

みて・きいて・かおって・ふれて・あじわう

しよく感教室

五感を使った
ワークショップ

「しよく感教室」は、食と造形を組み合わせた子ども向けのワークショップです。

食に関する仕事をしている岩本と、デザイン・造形の仕事をしている鶴岡の二人がタッグをくみ、毎回テーマを考えています。

食材の香り、音、感触、味、色などを確認しながら (五感を意識する)

これまでとは違った角度から「食」に実際に「触れる」ことにより (食&触)

子どもたちに新たな発見をしてもらうことがねらいです。

また、「食」を作り味わうだけでなく

造形を組み合わせることで、表現し演出する楽しさも体験します。

ワークショップには、お母さんとは離れて子どもたちだけで参加してもらっていますが、毎回のテーマに沿ったものを子どもたちが自分たちの手で作るのももちろん、自己紹介、お片づけ、最後に感想や意見の発表もします。

初めて出会った同士でも、順番に道具を使ったり、作業を分担してお片づけをしたり (食器洗い・床掃除等) ・共同作業をすることの大切さも体験してもらっています。



スタッフプロフィール

■岩本留里子(フードビジネスアドバイザー)

飲食業界の人材教育をメインに15年間。その経験を活かし、食の重要性を伝えていきたいと活動中。フードファン主宰。

■鶴岡まり子

多摩美術大学グラフィックデザイン科卒。商品企画やグラフィックデザイン、イラスト制作の仕事を経て、アプレットプラスの こどもデザイン造形教室を2009年春から始めました。